

(仮訳)

カザクバエフ外相発林外務大臣宛メッセージ

日本国外務大臣

林芳正 閣下

大臣閣下、

キルギス共和国と日本国の外交関係樹立30周年という祝賀の日を迎えるにあたり、深甚なる祝意を表します。今日この日を二国間関係の発展を振り返り、現状を把握し、我々の未来に向けた計画を策定する良き機会としたいと思えます。

キルギス・日本間の二国間関係は、友好、パートナーシップ、相互尊重の精神の下で発展し、政治、貿易、経済、文化及び人的交流の分野において、更なる結びつきの深化に邁進していることをお慶び申し上げます。

長年の協力の中で、我々はあらゆる形での関係を強化し、2013年にキルギス共和国及び日本間で署名された「友好とパートナーシップ及び協力の更なる深化に関する共同声明」、及び2015年「民主主義国家の連帯及びパートナーシップに関する共同声明」にも反映されているとおり、重要な交流分野において、互恵的関係を築く経験を積み重ねてきました。

キルギス政府及び日本政府間で30年以上の協力関係にわたって交わされた政治的対話は、前進的な交流及び様々な二国間・国際的問題に関するハイレベル間交流に象徴されます。近年の特筆すべき政治的交流には、2019年のキルギス共和国大統領の訪日、また二国間関係の歴史において日本国首相としては初めての訪問となる2015年の総理大臣のキルギス訪問等が挙げられます。

今日まで、キルギス・日本友好議員連盟の積極的な支援のもと、キルギス共和国及び日本国議会間の定期的な対話が確立されてきました。

2018年9月の日・キルギス友好議員連盟議員団のキルギス訪問、及び2019年9月29日から10月4日に実施されたキルギス共和国議会对日友好議員連盟議員団による実務訪問は、キルギス共和国及び日本間の議会間交流の発展に更なる弾みをつけたものと確信しています。

貿易・経済協力は、キルギス・日本国関係の優先分野の1つです。かかる分野における協力を深化する必要性を強調し、私は、二国間の緊密なビジネス関係の発展に向けた貿易・経済協力の更なる強化、貿易量増加、及びキルギスの輸出・投資機会の促進への関心を、今一度表明します。そして、我々は「キルギス・日本ビジネスフォーラム」を含むビジネス・投資イベントの開催に向け、ロシアNIS貿易会(ROTOBO)との更なる協働を歓迎します。

キルギス共和国は日本を信頼に値する開発パートナーとして高く評価します。主権国家たるキルギス共和国の発展に対する日本の支援及び国際協力機構(JICA)を通じた支援を含む我が国の生活の様々な分野において実施中の案件は、若い我が国の社会経済発展に顕著な役割を果たしています。特に、地方部独自の商品の生産を通じ、キルギス地方部における小規模ビジネスの発展に貢献しているJICA案件「一村一品」や、「キルギス・日本人材開発センター」を特に強調したいと思えます。

二国間での文化的・人道的交流は、二国間関係の最も重要な側面の1つであり、様々な文化・教育プログラムの共同実施に反映されています。キルギス共和国の中央・地方行政の人材の可能性の向上をはじめとして、日本によるキルギスの人材育成への顕著な貢献を強調します。我々は行政、国際関係、情報・通信技術、経済、農業、環境政策等の分野において、JDSプログラムを含む日本の大学へのキルギス国民の留学枠を増加すべく、支援と対話を積み重ねています。

この機会に、日本側によるキルギス共和国の民主主義的改革への支援、特に投票システムへの支援に謝意を表明します。近代的な選挙機材の整備を目的とした本支援は、国際基準及び技術に則って、キルギス共和国の選挙制度の公正性及び透明性を確保しています。また、無償資金協力を通じた保健制度への支援、及び COVAX スキームを通じたワクチンの供与等、新型コロナウイルス感染症対策のための時宜にかなった支援に対し特に御礼を申し上げます。

私は、キルギス共和国及び日本が、「中央アジア＋日本」対話の枠組みにおいて、地域課題の促進という立場の一致を含む多国間外交を通じ、協力関係を強化する努力を尽くしていると確信しています。本対話の枠組みにおける長年の協働は、中央アジア地域諸国及び日本国の協力関係の促進において、具体的な成果を達成することを可能にしました。我々は本対話の活動の更なる拡大、締結された協定の実施、及び各国の優先的プロジェクトの数の増加を支持します。今日の現実には、エネルギー、輸送、教育、医療、環境（気候変動）、自然災害、更に投資及び技術分野において、本対話の枠組みのもとで二国間関係を発展し、強化することに焦点をおくよう示しています。

二国間関係を更に深めるため、我々は更に多様化した実務的な日本との協力関係の発展への関心の高まりを表明します。私は、議会間及び閣僚間の結びつきを強化するため、あらゆるレベルでの政治対話の深化を提案します。2021年11月2日にグラスゴーでの国連気候サミットにおいて開催されたハイレベル会合が、政治的対話のベクトル強化及び政治的結びつきの維持に貢献すると確信しています。

現在及び新たな協力分野を特定するため、二国間関係の強化の助けとなるよう設定されたキルギス共和国・日本第2回政務協議を近い将来に開催し、二国間対話の優先分野につき合意するよう提案します。2022年から2024年までのキルギス共和国・日本間関係の深化に関する共同ロードマップの中で、特定の協力分野を含めるよう提案します。草案は、近い将来に外交チャンネルを通じて送付致します。

外交関係樹立30周年という佳き日及び両国間の協力関係の発展の祝賀に際し、両国におけるキルギス共和国の日及び日本の日の2022年における開催に関する意見交換を実施することが可能であると確信しています。

保健、投資、移民、環境、外交旅券及び公用旅券を有する者のビザなし渡航制度等の重要分野における両国の法的枠組みの拡大に向けた取組みを継続することが必要です。

あらゆる二国間及び多国間関係の強化の観点から、ご都合の良い時に、キルギス訪問に閣下をお招きしたく存じます。

我々の関係の発展は、世界の安定及び安全保障の強化という関心にに基づき、両国民の利益

のため、あらゆる側面における二国間関係の深化に貢献すると確信しています。

大臣閣下、ここに深甚なる敬意を表明致します。

敬具

キルギス共和国外務大臣  
ルスラン・カザクバエフ  
ビシュケク市、2022年1月26日